

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 4

2016 No.739

## 3 はじめの言葉

### 4 続様子見のマイナンバー

伸びないカード申請数

田原文夫

依然として、マイナンバー制度の説明不足は続いている。また、システムとしての機能についても納得できる説明はない。役所にしても、意味も分からず、仕事だから仕方なく、マイナンバーの通知、発行作業をしているだけだろう。窓口で市民の質問に答えられる職員もいない。これも、住基カードの二の舞か。

## 10 情報社会を考える その67

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

教育現場での悲劇

誤ったデータ／情報を元に行われた中学生の進路指導があった。それが元で、前途ある中学生が高校受験を前に自殺するという事件となった。悲劇である。これほどの悲劇はないと言えるほどの悲劇である。世は情報社会と言われるように、コンピュータシステム化されたデータ／情報に大きく依存する時代／社会になっている。今回の事件も、そうした時代／社会を背景に起こった事件である。指導に当たった担任教師は、コンピュータ記録のデータ／情報に基づき、生徒の希望校への推薦を拒否。成績ではなく2年も前(中学1年生当時)の素行記録を理由にしての推薦拒否だったという。結果は、前途に絶望し、悲観した生徒の死という最悪の事態を招いた。ここにはいくつかの問題点を指摘できる。

## 12 オープンガバメント OG 28

情報社会をすすめる

その62

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALSの一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つのCALSという概念(言葉)で1995年から2005年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

## 19 連載 アーキテクチャ論 (60)

### IT4IT

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本連載も、今回で 60 回となった。今後も継続してアーキテクチャについて最新の話題を紹介していきたい。今回はオープングループによる IT4IT について紹介する。

IT が業界横断的な共通ビジネス基盤になったことから、IT のコモデティ化が進行している。オープングループが標準化している IT4IT では、顧客企業が共通的に活用できる IT 活動のための参照アーキテクチャを提供している。IT4IT は、マイケル・ポーターが「競争優位の戦略」で提唱した価値連鎖（バリューチェーン）に基づいて、IT の開発運用保守活動を体系化している。IT4IT により、ビジネスの価値連鎖全体で業界横断的に、共通の IT 問題を解決することができる。

## 29 連載 日本再生と人材育成

### 人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その15

#### 第10話 大学勤務時代（その3）

Dr.ベスト

マルチ人間、スーパー人間と呼ばれてもいいほど、高度成長時代からバブル崩壊、そして今日に至るまで4回の定年退職（1回目：企業の早期退職制度に基づく退職（52才）、2回目：同企業の関連会社における定年退職（60才）、3回目：某大学における定年退職（65才）、4回目：別の大学における定年退職（70才））を経験しながらも「情報と人材」をテーマに働き続けてきた男がいる。その男の生き方は人口減少／少子高齢化時代への挑戦に何らかのヒントを与えることができるのではないと思われる。その半生を「履歴書」的に紹介させていただきたい（編集部）。

## 37 IT新時代とパラダイム・シフト

### 第77回 世界のトップ棋士に勝利したAlphaGoとは 根本忠明

グーグルのAI囲碁であるAlphaGoが、世界のトップレベルのプロ棋士を破った。囲碁は、2500以上の歴史を持ち最も複雑と言われている盤上ゲームの歴史のなかで、2016年3月9日～15日は、エポックメイキングな日となった。世界が驚いたのは、囲碁やコンピュータの専門家の予想を10年近くも前倒した点にある。人間の知性を人工知能が上回る時代が、意外に早いかもしれないという期待と不安を、世界の人々の心に抱かせたといってよい。今回は、グーグルのAlphaGoの登場までの経緯と意義について、紹介することにしたい。

## 40 続インテリジェンスへのいざない 75

### テロに怯え、翻弄されるEU各国テロリストの行動監視と限界 今井 武

アフリカ、中近東諸国からEUまでを含めたテロが続発している。まさに、国籍／国境を問わない軍事行動が随所で起こっている。軍事テロリストの国籍も様々で、彼らの行動監視だけでは治まらない、そういう現実を感じさせる。まさに第三次世界大戦を思わせるものがある。

## 43 連載 四字熟語力トレーニング

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2014年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安産後編と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)